

お知らせ

H A P S

東山 アーティスツ・プレイズメント・サービス

令和4年4月19日

一般社団法人HAPS

〔取次：京都市文化市民局
文化芸術都市推進室
文化芸術企画課 TEL075-222-3119〕

「Social Work/Art Conference」のコーディネートによる 絵本「はなのちるちる」の発行について

京都市では、一般社団法人HAPSとともに、「文化芸術による共生社会実現に向けた基盤づくり事業」を通して、アートをきっかけに様々な立場の人が関わり合う共生社会を実現するための取組を実施しています。

この事業の一環で実施している相談事業「Social Work/Art Conference」（以下「SW/AC」という。）では、アート、福祉、教育、地域活動などの担い手から相談を受け付けています。

この度、一般社団法人京都市老人福祉施設協議会（以下「市老協」という。）からの相談を受け、SW/ACがコーディネートを担った絵本「はなのちるちる」が発行されましたので、お知らせします。

1 絵本の発行について

(1) 絵本について

「はなのちるちる」

作：鹿子裕文 絵：森田るり

編集：筒井大介 装丁：椎名麻美

協力：Social Work/Art Conference

発行：一般社団法人京都市老人福祉施設協議会

初版第1刷：令和4年3月31日

定価：1,800円＋税

※特設サイトから注文可能

<https://sites.google.com/view/hanochiruchiru/%E3%83%9B%E3%83%BC%E3%83%A0>



(2) 絵本の内容について

『きょうというひを だいじにおもうのは としをとったから かしら？』
これまでの時間を振り返って、はなのさんがちるちるに語り掛ける、今の思いとは。

鹿子裕文氏の言葉と森田るり氏の絵によって生まれた、超高齢社会の中で「古い」や「死」それとともにある「生」について多世代で知り、考えるための絵本。

(3) 絵本の寄付について

市老協が主催する新入介護職員の「合同入職式」（令和4年4月9日開催）と併せて「絵本贈呈式」を実施し、当該絵本を京都市に御寄付いただいた。

御寄付いただいた絵本については、市立幼稚園・保育所・小中学校、総合支援学校、図書館、児童相談所等に配布する。

2 SW/ACの関わりについて

令和2年度、市老協からSW/ACに対し、高齢者や介護をテーマにした絵本を制作したいとの相談があった。その後、市老協から招集されたメンバーによる絵本制作プロジェクトが立ち上げられ、SW/ACは絵本のコンセプトの練り上げ、編集者や作家の選定など、プロジェクト全体のコーディネートを担った。

【参考1：Social Work/Art Conference (SW/AC) について】

HAPSの相談機能（芸術家や芸術家を支える人からの居住、制作、発表等、創作活動に関わる様々な相談に対応）を拡充し、芸術家等が社会課題へアプローチする際や、福祉施設等が文化芸術の取組に着手しようとする際の相談に対応。伴走型支援、情報提供、アウトリーチ、関係者のネットワークづくりなど多様な支援を行っている。

○相談受付先

Eメール：swac@haps-kyoto.com

電話：075-748-8575 FAX：075-525-7522

住所：京都市南区東九条東山王町1 HAPS HOUSE

URL：<http://haps-kyoto.com/swac>

【参考2：一般社団法人HAPSについて】

若いアーティストたちが京都のまちなかに居住し、活動し続けることができる環境を整え、彼らの新しい創作の活力を、まちの活力につなげていくことを目指し、平成23年9月に東山 アーティスツ・プレイスメント・サービス（HAPS）実行委員会を設立、平成31年4月に事務局を法人化（一般社団法人HAPS）。平成29年度からは、文化芸術により共生社会を実現するための基盤づくりにも取り組んでいる。